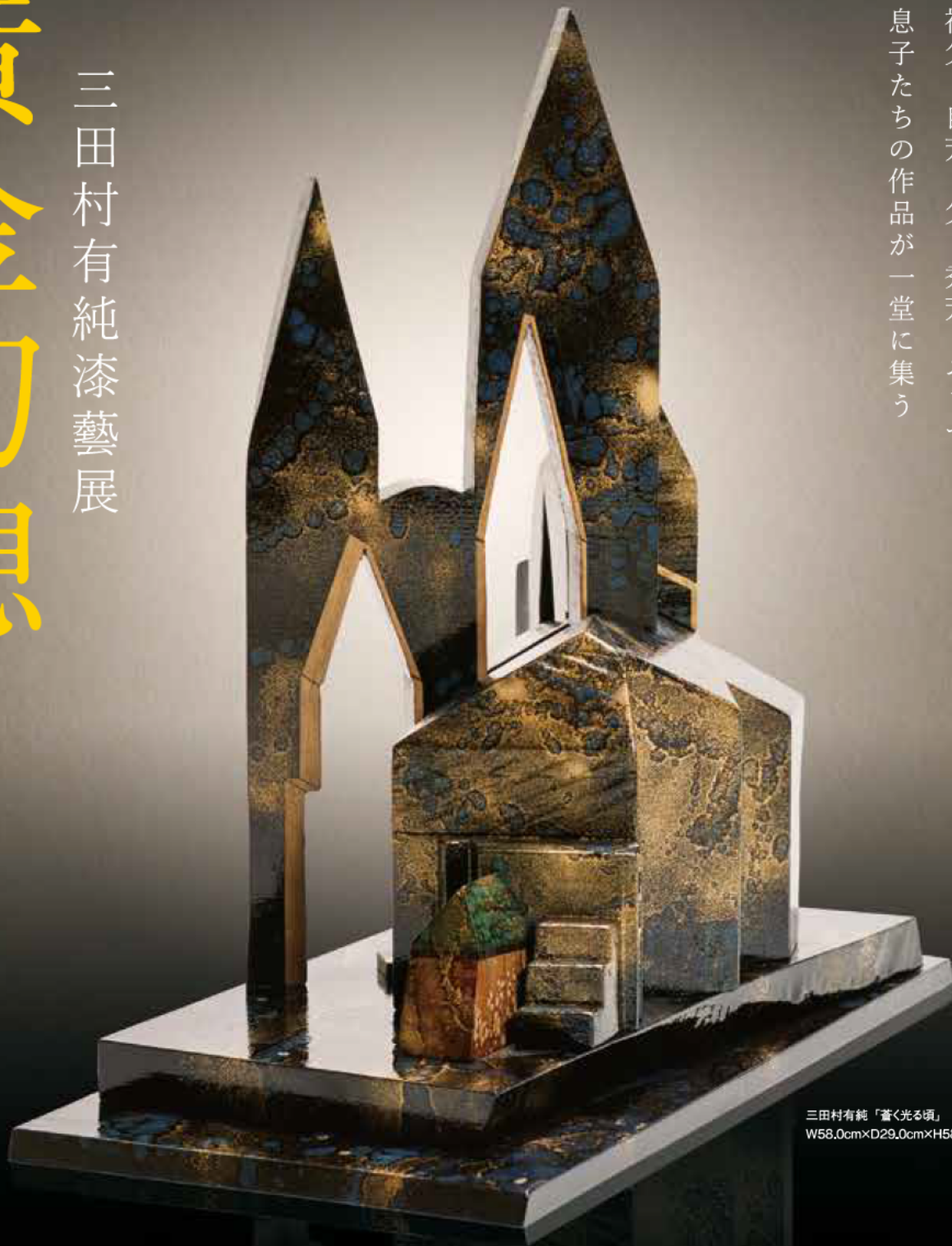


黄金幻想

三田村有純漆藝展

三田村有純の漆造形作品を中心に
祖父・自芳、父・秀芳、そして
息子たちの作品が一堂に集う



三田村有純「蒼く光る頃」
W58.0cm×D29.0cm×H58.0cm

2016年10月25日(火)～11月25日(金)

平成記念美術館 ギャラリー 10:00～18:00 休館日:日曜日

観覧無料

主催: **平成建設**

イベントのお知らせ

初めての方でも大丈夫! 「漆と金のアクセサリーを作ろう」
漆藝制作体験

11月19日(土) 10:00～12:00 先着30名(予約制) 対象年齢:15歳以上

参加費:3,000円 当日のお支払いをお願いいたします

「黄金幻想」開催記念講演 三田村有純「漆を語る」

第1回 11月9日(水) 第2回 11月19日(土) 14:00～15:00(両日)

参加費無料 事前ご予約の方を優先させていただきます

会場:平成記念美術館ギャラリー ご予約・お問い合わせ:TEL 03-3426-1103 FAX 03-3426-1123 または右記QRコードより

※駐車場台数に限りがありますので、ギャラリーへのご来場は公共交通機関をご利用ください



江戸蒔絵赤塚派十代を継承、東京藝術大学漆芸科教授として後進の育成にあたりつつ、日展作家として活躍する三田村有純の32回目の個展です。

三田村有純は23歳で日展に初出品・初入選。日展・日本現代工芸美術展での受賞や世界各国での展覧会招待出品を重ね、伝統ある漆の技法を駆使して今迄の日本の藝術界に無い独自の世界を創り上げ、世界に漆藝術を発信してきました。

今回展示する漆藝作品は、いずれも自ら木を彫り、漆を塗り重ね、その上に漆で絵を描き、金を蒔いた作品です。風景彫刻、レリーフによる壁面、揺れる箱などが、漆の概念を超えた魅力を放ちます。新たに和紙と漆を用いた作品も発表します。

有純の作品は約35点。参考出品として、祖父・自芳、父・秀芳、そして三人の息子の作品も併せて50点が並ぶこの展覧会は、漆藝を代々受け継ぎ、明治、大正、昭和、平成と発表してきた三田村家の歴史と、漆藝の未来を見せてくれることでしょう。



三田村有純「水の方こうに」(部分) W41.0cm×H37.0cm



三田村自芳「菊花文、松喰い鶴文茶器」



三田村秀芳「蝶文、華文茶器」



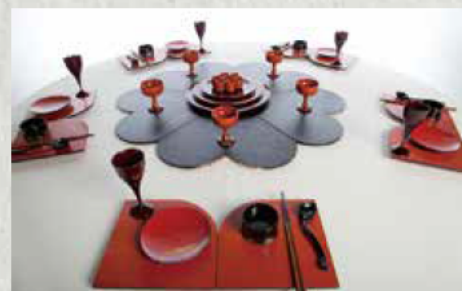
三田村有純「銀河光彩」W11.0cm×D5.2cm×H10.0cm



三田村雨龍「見つめ合う」(部分) W53.0cm×D25.0cm×H30.0cm



三田村有芳「林檎と象」W33.5cm×D11.0cm×H13.0cm



三田村憲和「花の宴」

三田村 有純
ARISUMI MITAMURA

- 1949年 東京都杉並区生まれ。江戸蒔絵赤塚派八代 祖父・自芳、九代 父・秀芳より蒔絵技法他を学ぶ
- 1975年 東京藝術大学大学院漆芸専攻修了
- 1976年 田口善国(重要無形文化財保持者)藝大研究室研究生修了
- 1978年 高橋節郎(文化勲章受賞、日本芸術院会員)藝大研究室研究生修了
- 1978年 東京藝術大学 助手、講師、助教授、教授、学長特別補佐、～現在 学長特命を歴任
- 1998年 ベルギー王立H.I.F.A.客員研究員として一年間在外研究

平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】03-3426-1103

開館時間 10:00～18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

駐車場：全5台

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

- 【電車】 東急世田谷線 上町駅より徒歩10分
- 【お車】 馬事公苑正門より世田谷通り沿いに東へ約650m
- 【バス】 渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行 渋24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



次回展覧会 ※スケジュールは予定の為、変更になる場合があります。

2016年12月1日(木)～12月24日(土) 色絵シルクロード行 武腰一憲 陶芸展

同時期開催

黄金境界

三田村有純 東京藝術大学退任記念展

柴田是真、赤塚自得らの銘品と、江戸蒔絵の系譜に連なる高井泰令、三田村自芳、秀芳、現代を生きる三田村有純の共演

2016年10月25日(火)～11月6日(日) 10:00～17:00(入館は16:30まで)

会場:東京藝術大学大学美術館 3階(東京都台東区上野公園12-8) 入場無料 会期中無休

お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600

主催:東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館 協賛:株式会社 平成建設